

2006 年 11 月の東北地方の天候

【 11 月の特徴 】

- ・ 上旬の高温
- ・ 中旬の多雨

（１）2006 年 11 月の概況

冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過することが多かった。このため気温は高く経過し、初霜・初氷・初雪などの寒候期現象および山岳の初冠雪の観測は、ほとんどの観測地点で平年よりも遅かった。

上旬は高気圧におおわれ晴れの日が多く、東北地方の北を通過した低気圧に向かって南風が吹き込んだために高温となった。中旬以降は、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となったが、強い寒気の南下はなく長続きしなかった。東北日本海側では中旬以降は平年と同様に曇りや雨の日が多くなった。20～21 日および 27～28 日は、本州の南岸沿いを進む低気圧の影響で東北太平洋側を中心にまとまった雨となった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で多い。月間日照時間は、東北北部で少なく、東北南部で多い。

（２）各旬の天候経過

上旬：移動性の高気圧におおわれ、晴れの日が多かった。7日は寒冷前線が東北地方を通過したため、東北日本海側を中心にまとまった雨となった。また東北各地で強風となり、列車の運休や倒木による停電などの被害が発生した。寒冷前線の通過後の寒気の影響で高い山では雪となり、8日は東北各地の山岳で初冠雪が観測された。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。

中旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雨の日が続き、東北太平洋側では天気は短い周期で変化した。12日は強い寒気が南下し、青森、八戸、盛岡、若松では初雪を観測し、山沿いでは積雪となったところもあった。18日朝と19日朝は冷え込み、東北各地で初霜や初氷を観測した。20日は本州の南岸沿いを進む低気圧の影響で東北太平洋側を中心にまとまった雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方で少ない。

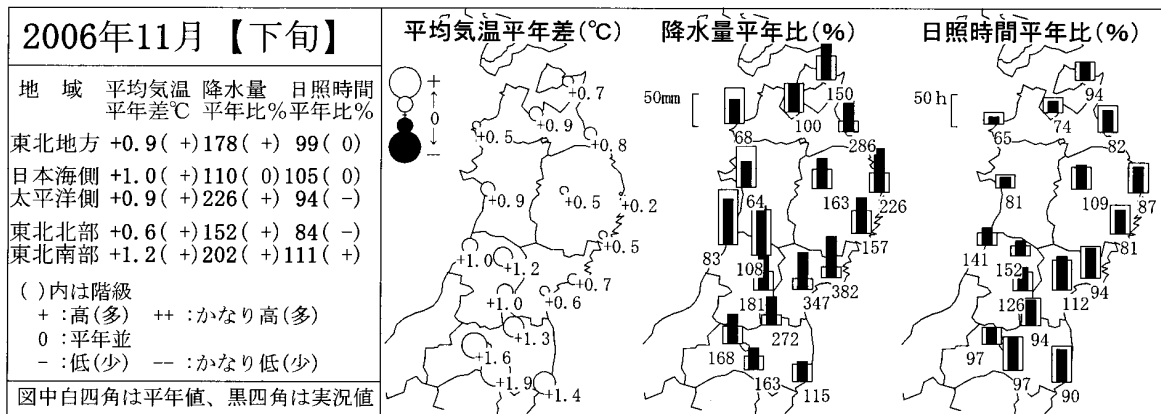
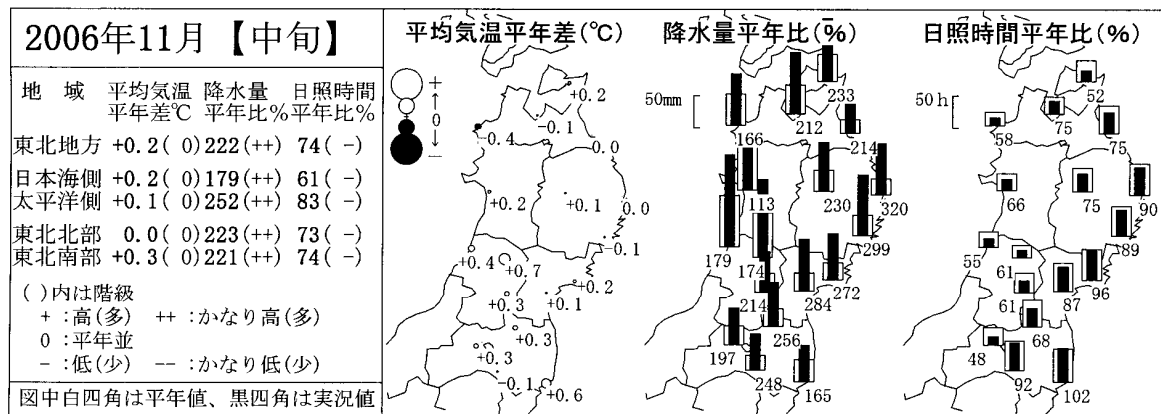
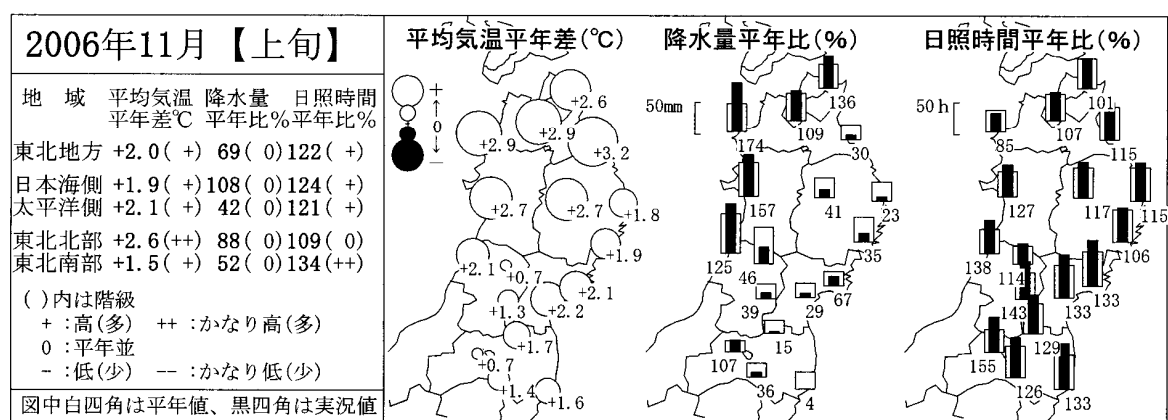
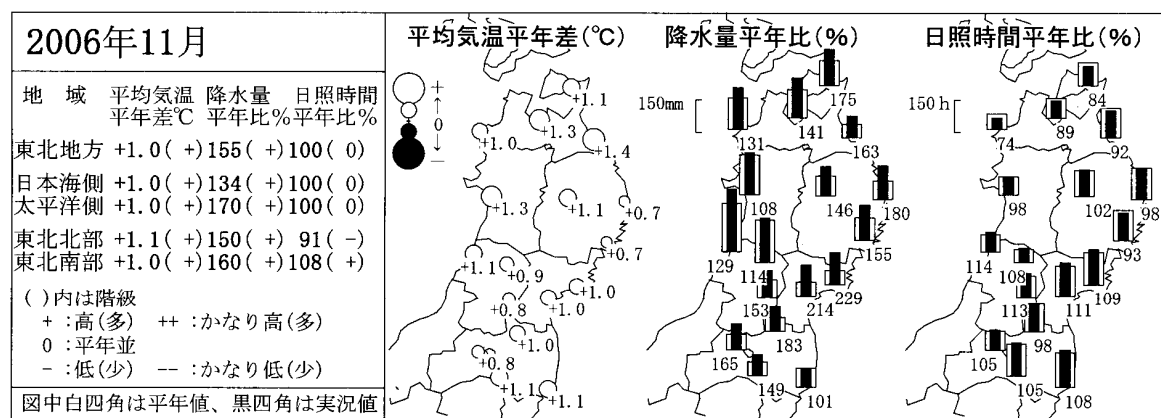
下旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過した。弱い冬型の気圧配置となる日もあり、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多かったが、25～26日は移動性の高気圧におおわれ晴れとなった。27～28日は本州の南岸沿いを進む低気圧の影響でまとまった雨となった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 3 ページ目脚注 1 を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

(3) 2006年11月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



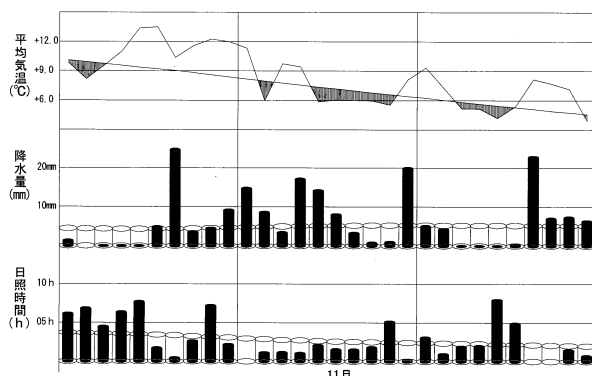
平年値の統計期間は1971～2000年。

(4) 2006 年 11 月の月気候表

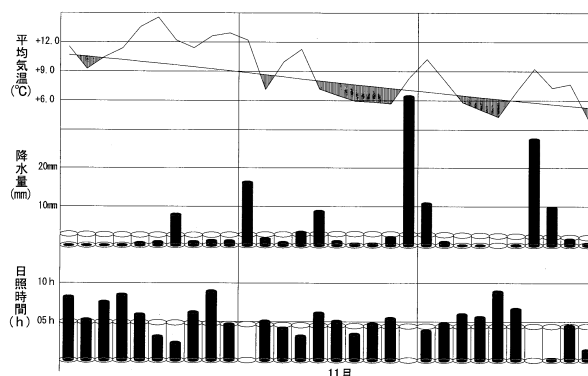
地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			降雪深さ(平年値)階級			最深積雪(平年値)階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森	7.7	(+1.3)	+	185.5	(141)	+	17	81.7	(89)	—	4	(40)	—*	4	(18)	—
深 浦	8.5	(+1.0)	+	193.0	(131)	+	17	53.0	(74)	—	—	(13)	—*	—	(4)	—*
む つ	7.4	(+1.1)	+	202.5	(175)	+*	20	89.8	(84)	—	—	(21)	—*	—	(7)	—*
八 戸	8.0	(+1.4)	+	100.0	(163)	+	9	126.0	(92)	—	—	(8)	—*	—	(2)	—*
秋 田	8.9	(+1.3)	+	198.5	(108)	+	18	82.9	(98)	○	—	(13)	—*	0	(5)	—
盛 岡	6.8	(+1.1)	+	136.0	(146)	+	12	120.7	(102)	○	—	(11)	—*	—	(5)	—*
大 船 渡	8.9	(+0.7)	+	161.5	(155)	+	8	129.2	(93)	—	—	(2)	○	—	(1)	○
宮 古	8.4	(+0.7)	○	154.5	(180)	+	9	143.8	(98)	○	—	(1)	○	—	(0)	
仙 台	10.1	(+1.0)	+	143.0	(214)	+*	10	156.3	(111)	+	—	(1)	○	—	(0)	
石 巻	9.3	(+1.0)	+	149.0	(229)	+*	10	162.2	(109)	+	—	(1)	○	—	(1)	○
山 形	8.0	(+0.8)	+	124.0	(153)	+	13	112.8	(113)	+	—	(12)	—*	—	(5)	—*
新 庄	7.1	(+0.9)	+	222.0	(114)	+	19	67.2	(108)	+	—	(28)	—*	—	(13)	—*
酒 田	10.1	(+1.1)	+	289.0	(129)	+	18	92.0	(114)	+	—	(10)	—*	—	(3)	—*
福 島	10.0	(+1.0)	+	116.0	(183)	+	8	127.9	(98)	○	—	(2)	○	—	(1)	○
若 松	7.8	(+0.8)	+	121.0	(165)	+*	14	92.5	(105)	○	—	(9)	—	—	(4)	—
白 河	8.7	(+1.1)	+	97.0	(149)	+	8	154.4	(105)	+	—	(2)	—	—	(1)	○
小 名 浜	11.9	(+1.1)	+	88.5	(101)	○	8	173.4	(108)	+	—	(0)		—	(-)	

- ・「階級」の記号の意味は以下のとおり
 +:高い(多い) ○:平年並 —:低い(少ない) * は「かなり」を表す
- ・「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。
- ・値の横に「)や」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のもと同様に扱うことができるが「)付きの値(資料不足値)」については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2006 年 11 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

注 1) 細分地域

東北日本海側:青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側:青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部:青森県、秋田県、岩手県

東北南部:宮城県、山形県、福島県

注 2) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2006 年 11 月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

月降水量多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	石巻	149.0	229	160.2 (1916)	1887	65.1

(7) 季節現象

2006/2007年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.19	10.23	10.27	11.20	10.29	11.16	11.12	11.7	11.8
八戸	11.2	10.27	11.16	11.19	11.2	11.16	11.12	11.11	11.15
秋田	11.19	11.6	11.21	11.19	11.13	11.21	11.16	11.12	11.15
盛岡	10.22	10.18	10.26	11.2	10.24	11.1	11.12	11.8	11.15
宮古	11.18	10.31	11.10	11.18	11.5	11.10	11.30	11.16	11.30
仙台	11.18	11.06	11.20	11.19	11.16	12.3		11.22	12.3
山形	11.9	10.24	11.1	11.19	10.29	11.1	12.1	11.16	11.19
酒田	11.19	11.12	12.6	11.19	11.20	12.6	12.1	11.17	11.30
福島	11.19	11.6	11.17	11.19	11.11	11.17		11.24	12.3
若松	11.19	10.28	11.1	11.19	11.6	11.1	11.12	11.17	11.16
小名浜	11.25	11.11	11.18	11.25	11.19	11.21		12.13	12.15

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	11.8	ガンドサン 雁戸山	1485	11.8	10.28	11.10
イワキサン 岩木山	1625	11.8	10.15	11.9	リュウザン 瀧山	1362	11.8	10.30	11.10
ハシカミダケ 階上岳	740	11.30	11.12	11.19	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.8	11.6	11.9
タイヘイザン 太平山	1170	11.12	10.31	11.9	ザオウザン 蔵王山	1841	11.8	10.23	10.24
イワテサン 岩手山	2038	10.9	10.13	10.24	アツマヤマ 吾妻山	1949	11.8	10.21	10.23
チョウカイザン 鳥海山	2236	10.9	10.9	10.25	イイデサン 飯豊山	2105	11.8	10.17	10.24
ガッサン 月山	1984	11.8	10.15	10.26	パンダイサン 磐梯山	1819	11.8	10.24	11.9
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.8	10.19	11.10					

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

* 大船渡測候所が平成 18 年 10 月 1 日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、大船渡における寒候期季節現象および五葉山の初冠雪の観測は終了しました。